

研究課題名「造影 Dual Energy CT 画像による原発性肺癌の予後予測」に関する情報公開

1. 研究の対象

2014年4月1日～2017年3月31日に当院で肺がんの手術および術前造影CT検査を受けた方

2. 研究目的・方法・研究期間

目的：造影CT検査は原発性肺がんの術前診断に広く推奨されている検査で、リンパ節転移や遠隔転移の診断に有用なだけでなく、原発巣の造影効果は腫瘍の悪性度、浸潤性を反映することが報告されています。通常、腫瘍の造影効果は、単純CTと造影CTを比較して診断しますが、異なる管電圧の放射線を用いて撮影するdual energy CT (DE-CT)では単純CTを撮像せずに造影効果を診断することができます。そこで本研究では、当院で手術が施行された原発性肺がんの術前CT・PET検査、術後病理所見を後向きに調査し、造影DE-CT画像から腫瘍の悪性度や術後再発の有無をより正確に推測する手法を検討します。

方法：2014年4月1日～2017年12月31日に当院で肺がんの手術を受けられた対象者の方の画像所見や病理所見、臨床経過などの情報を、個人情報削除された状態でデータを収集していきます。術前に撮像されたDE-CT・PET所見と、術後の病理組織所見、術後経過を比較検討し、DE-CT所見によって予後をより正確に予測できるかどうかについて統計解析します。

研究期間：実施承認日～2024年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、手術記録、病理記録、術後経過、CT・PET画像および読影レポート等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし学会発表・論文として公開されたデータについては削除できない可能性があります。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科 量子医学

准教授 岩野信吾（研究責任者）

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

TEL: 052-744-2327